

前期課程

三年生になつて

三年A組 石井 弘陽

三年生になって社会、理科、総合のじゅぎょうや、音楽のリコーダーの練習がふえました。ぼくがその中で一番好きなのは、理科です。

アオムシのかんさつのときに電子黒板でアオムシのアップを見て、おもしろかったからです。すごく動いてキャベツを食べていました。そだてているときに、一番大きいアオムシがキャベツ用の水でおぼれてしまったり、小さいアオムシが入れ物からにげようとしてわりばしにつけたセロテープにひっついてしまったり、たいへんでした。モンシロチョウのサナギだと思っていたら、ガが出てきたこともありました。サナギからチョウになつたところは、アゲハチョウで見ました。

理科はこれからもかんさつできるので、いろいろなことをやっていきたいし、べんきょうもしたいです。

三年生になつて

三年A組 猪飼 朋花

三年生になって社会のじゅぎょうが始まりました。わたしたちは、村たんけん、地図記号、トマトの水こうさいばいなど、たくさんのことを行きました。はじめのころ、地図記号をおぼえませんでした。地図記号はどこでも同じ記号を使っていることをはじめて知りました。



六月十三日にトマト農家さんの温室へ水こうさいばいの見学に行きました。まっ赤なトマトもあれば、小さくて黄緑のものもありました。きかいや広い温室を友だちと見たり、せつめいを聞いたりしました。そして、見学に行った少し後にお礼の手紙を書きました。

「先日は、温室の見学をさせていただき、ありがとうございます。あんなにたくさんトマトがあるのに少しの人だけでそだてているなんてすごいなと思いました。トマト農家の仕事は、トマトがびょう気になったり、ひびが入ったりしないようにするのが、たいへんだということが分かりました。わたしは、トマトがにがてだったけれど、見学をして好きになりました。いっぱい食べられるようになりそうです。これからトマトを大切にしたいです。」と、書きました。農家さんがよろこんで読んでくださったらいいな、と思いながら書きました。

これからもいろいろなところを見学して飛鳥のことを知りたいと思います。

三年生になつて

三年A組 山口 友愛

わたしは、三年生になって音楽でリコーダーをふいたり、むずかしい歌を歌ったりするようになりました。

はじめ、リコーダーはかんたんにふけていました。さいしょにやったシの音は、左手の親指と人差し指を使うだけからです。しかし、どんどんむずかしくなってきたんだんふけなくなりました。そのときは、友だちが助けてくれたり、教えてくれたりしたので、上手にふけるようになりました。ふけたので、とてもうれしかったです。でも、リコーダーブックの少し先についている『にわりのポルカ』という曲を見たとき、

「この曲はすごくはやい。わたしはすぐに指を動かせないからむりだなあ」

とつぶやきました。しかし、どんどんなれていっただらふけるんじゃないかなあ、と思ってたくさん練習したので、今はふけるようになりました。

歌は歌しをおぼえたり、うら声を出したりするのがてでした。



一番たいへんだった歌は『とどけよう このゆめを』です。どうしてかという、言葉がむずかしかったからです。けれども、本を見ながら少しずつおぼえることができました。

これからも、リコーダーや歌がむずかしくても少しずつ何回もれんしゅうしておぼえていきたいです。

1年の1年でがんばりたい

三年B組 伊藤 愉生

わたしが、この一年でがんばりたいことは二つあります。

一つ目は、理科と社会です。どうしてかという、二年生の時にないじゆぎようだからです。テストが、カラーテストだけでなく白黒のテストもあります。だから、わくわくするので、わたしは理科と社会が大好きです。ほかに、音楽や体育全部好きです。また生活がなくなつたので少しさみしいけど、ほかの教科をがんばってやっけていきたいです。

二つ目は、下校のことです。一年生は、下校にはおうちの人に車

でむかえに来てもらっているのではありません。でも、となりのほんのたん長がならいごとでいませぬ。だから、わたしがかわりにやります。となりのほんは人数が多いので大へんです。でも、もう一人三年生がいるので安心しました。楽しく一年生が下校をするくふうを、二年生の春休みに考えました。今は、楽しく下校することができています。



この二つをがんばったら、どんな三年生になるのか楽しみです。

元気できよう力しあう三年生になりたいです。

みんなぞりレー一番どう

三年B組 小坂井 柚葵

さいきんの体育はりレーをやっています。わたしは、ほいくえんの時、足がはやかったけど、他の三年生とくらべるとおそくなりました。理由は、自分のどりよくがたりなかつたからと思います。

一年生の運動会の時に、代表りレーにえらばれてとてもうれしかったのをおぼえています。りレーは、一人が速くてもだれかがおそいとチームのじゆん位が下がって、さいごまでせいせきが分からないところがおもしろいと思います。ほかのチームでもいっしょうけんめい走っているすがたを見るとおうえんしたくなります。



小さなしあわせたくさん

三年B組 吉田 智咲

わたしは、三年生になって、はじめてやったり、知ったりしたことがたくさんあります。

一つ日はそうじです。一・二年生よりも細かいところまでそうじするようになりました。友だちがしているところを見て、わたしも細かいところまでそうじするように気をつけました。そうしたら、教室がピカピカになって、なんだか自分の心もピカピカになったような気がしてうれしくなりました。

次は、音楽です。音楽では、リーダーをはじめ習いました。トウトウとふくと上手にふけることを教えてもらい、家で何ども練習をしました。だんだんふける音がふえてきて、楽しくふけるようになってきました。友だちといっしょにふくと、もつと楽しい気持ちになりました。歌もそうです。みんなで気持ちをこめて歌っているときがとても楽しいです。今までは、みんなでいっしょに歌うことが少なかったのですが、みんなで歌ったりリーダーをふいたりすることができてうれしいです。



さいごは、水泳です。この前、入学してはじめての水泳のじゅぎょうがありました。一年生になる前からとても楽しみにしていたので、やっとなんかできてとってもうれしかったです。

三年生になってから、わたしのまわりには、小さなしあわせがたくさんあることに気づきました。小さなしあわせがたくさんあつめて、しあわせがたくさんある三年生にしていきたいです。

後期課程

修学旅行の思い出

九年A組 青木 梨華

修学旅行に行ってきました。今回、無事に関東方面へ行くことができたのは、たくさんの方のおかげです。本当にありがとうございました。

山梨にある青木ヶ原樹海では、飛鳥では味わうことのできない大自然と触れ合いました。ペンションでの夕食はフルコースが出て、テーブルマナーが曖昧だったので、しっかり学んでおきたいと改めて思いました。

当初は国会議事堂に行く予定でしたが、議会と重なり見学することができなくなりました。歴史的な建物を間近で見ることができなくなると残念でしたが、デイズニースーで友人と過ごす時間が延びたのでうれしかったです。そこではキャストさんに手を振ったり、笑顔を向けたりしてコミュニケーションをとることができました。ゴンドラに乗ったとき、夜景が美しかったです。夜に乘ろう



と提案してくれた友人には頭が上がりません。感謝しています。

東京分散では、集合時間を間違えて遅れてしまい、もしかしたら新幹線に乗ることができなくなっていたかもしれません。だから、自分を信じることは大切ですが、思い込みで行動をしないようにしていきたいと思いました。

三日間の修学旅行を通して仲間との絆を確認したり、自らの成長を直に感じたりすることができま

**人を頼る**

した。この忘れたい一生の思い出を大切にしていきたいです。

九年A組 立松 佳

自分は修学旅行で色々なことを経験し、色々なことを学びました。自分は特に、「協力の重要性」を学びました。自分がこのことを学んだのは、三日目の班別分散での東京散策です。

班で計画を立てるときに、ある程度のこととは自分でやってしまおうと思っていました。しかし、自分は東京についての知識はあまりなく、少し行き詰まってしまいました。そんなとき、班のメンバーが、やることがないか聞いてくれたり、行き先を提案してくれたりしました。そこで自分は、人を頼ることも一種の協力の形なのだと思います。自分が相手を助けるだけでなく、自分が相手に助けてもらうことも重要なのだと感じました。そこからは班で意見を募り、スムーズに計画を立てていきました。時間などの都合で二転、三転することもありましたが、最終的にはしつかり形になったと思います。



班別分散当日、色々なことがありました。道に迷ったり、予想以上に待ち時間が長かったりと少し計画通りにいかないこともありました。しかし、班の人が道を覚えていてくれて助けてくれたり、待ち時間で二日目のデイズニーの話をしたりして楽しめました。時間が足りず、できなかったこともありましたが、一時もむだな時間はありませんでした。自分にとって最高の思い出になったと思います。

**飛島学園 8月の行事予定**

- 1日(月) 全校出校日
- 2日(火)～4日(木) 後期課程三者懇談
- 5日(金)～6日(土) 村平和推進事業
- 8日(月)～10日(水)
イングリッシュキャンプ(9年生)
- 10日(水)～16日(火) 閉校日
- 24日(水) 全校出校日
5年生野外活動説明会
6年生修学旅行説明会

